

## 歴史と街づくり活動の経緯

千里ニュータウンとして、1961年から69年にかけて開発されたわが国で初めての大規模ニュータウンの低層住宅地の1つです。

私達の住区は豊中市北東部に位置し、千里ニュータウンの中でも最後に開発された地区で、1969年6月より分譲が始まり、70年4月には新千里南町三丁目住宅自治会が発足しました。

地下鉄御堂筋線に乗り入れている北大阪急行桃山台駅から徒歩5分の所に位置し、新大阪、伊丹空港に近く大変交通の便に恵まれた住区です。それゆえ、良好なまちなみを保全する為の分譲条件であった『千里丘陵分譲地の利用及び住宅の建設に関する協定書』の内容を引き続き遵守し、良好な住環境の維持に努めてきました。

1980年自治会として「新千里南町3丁目住宅自治会環境保全協定」を締結し、さらに低層住宅地としてまちなみの保全に努めてきましたが、時の経過にともない、所有者が変わったり、個々の住宅の建替えの時期が迫ったりしたため、2000年4月には「景観協定」の締結をしました。同年9月に豊中市景観条例による認定を受け、市の協力を得ながら、良好な景観形成の為の活動を行ってきました。

また、この活動に関して2004年3月に大阪府の第20回「大阪府まちづくり功労賞」を受賞いたしました。

日常的に行ってきた地区内清掃や違法駐車、駐輪の防止、ゴミ問題、違法立て看板の撤去等の活動についても景観協定の中にも含め、活動がより広がり活発になっています。

